科目ナンバリング	U-LAS54 10013 SJ18						
授業科目名<英訳>	問題解決のための思考法 －人生・キャリア設計とコミュニティ形成（ディスカッションベース）－ Thinking Strategies for Problem Solving			担当者所属職名・氏名	非常勤講師 宇野　健司		
群	キャリア形成科目群	分野(分類)	その他キャリア形成		使用言語	日本語	
旧群		単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（対面授業科目）
開講年度・開講期	2026・前期	曜時限	金2/金3/金4	配当学年	１・２回生	対象学生	全学向

[授業の概要・目的]

問題解決のための様々な思考法のみならず、話す態度・聞く態度などの包括的なスキルを身につけ、将来のキャリアへの積極的な姿勢も培う。基本的にMBA（Master of Business Administration）形式のケーススタディを行う。ディスカッションを通じて、授業内での積極的な発言や姿勢が受講者に望まれる。

授業の構成としては、まず3人1組の小グループで数分ディスカッションを行い個々の意見を述べた後、学生主体で全体ディスカッションを数十分行い、最後に講師からの総括がある。思考力やディスカッションの能力を培うことに加え、受講者自身の人生やキャリアに目を向け話し合う機会も多い。

受講生にはケーススタディの経験がない人も多いが、経験値は不問であり、積極的に自ら考え発言する姿勢、問題意識、成長マインドなどが重視される。

[到達目標]

①一方向的な講義スタイルではなく、アクティブラーニング型でフレンドリーに学生が意見交換をし、講師も学生の意見を踏まえて総括する。その活動を通して授業内外での受講生-講師間や受講生間のコミュニティを築く。
②海外留学や将来ビジョンについて主体的に考えられるようにする。授業開始当初はそうでなくとも回を経るにつれてこれらの話題についての意識が高くなるように授業を進め、同じ興味を持つ者同士で刺激を与え合えるようにする。

[授業計画と内容]

就職後の人生までを扱い、社会人としてのスキル向上に直結する内容となっている。講義は、ディスカッションスキルと自発的な行動力の獲得を促す海外で行われるMBA形式で行う。各週提示されるケースをもとに、クラス内のメンバーとランダムにグループを組み、ディスカッションすることを推奨している。学期前半には導入としての身近な話題、ケーススタディの理解に適した話題を扱う。人生設計についてのディスカッションを挟んだのち、学期後半には若手社員から、中間管理職、経営トップに至るまでの社会人が直面する問題を扱う。

第1回：授業ガイダンス＆海外留学のススメ
第2回：問題解決のための思考法＆ディスカッションスキルの基礎・実践について解説①
第3回：問題解決のための思考法＆ディスカッションスキルの基礎・実践について解説②
第4回：模擬ディスカッション（身近な話題をもとに実践練習）①「主体性と他者への配慮」
第5回：模擬ディスカッション（身近な話題をもとに実践練習）②「組織論とリーダーシップ」
第6回：模擬ディスカッション（身近な話題をもとに実践練習）③「過去の経緯や背景への理解」
第7回：人生設計についてのディスカッション（将来どう生きて行くのか？）「20代は試行錯誤する時期」
第8回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）①「グローバル体験の重要性」

問題解決のための思考法 －人生・キャリア設計とコミュニティ形成（ディスカッションベース）－(2)へ続く↓↓↓

問題解決のための思考法 －人生・キャリア設計とコミュニティ形成（ディスカッションベース）－(2)

第9回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）②「若手社員のキャリア形成」

第10回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）③「下積み経験の意味」
第11回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）④「組織内での人間関係」
第12回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）⑤「アントレプレナーシップ」

第13回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）⑥「中間管理職とマネジメント」
第14回：ディスカッション（リアルな社会人のケースをもとに議論）⑦「経営者の役割と経営戦略論」
第15回；全体フィードバック＆将来に向けての受講生・講師間のコミュニティ形成について

[履修要件]

特になし　：ケーススタディの経験値は問わない。

[成績評価の方法・観点]

テストやレポートや課題などは一切なく、授業への参加・貢献やディスカッション内容などで評価する。

[教科書]

使用しない

[授業外学修（予習・復習）等]

LineやSlackを用いて、やる気のある学生が数名でチームを組んで企画を推進していく。

[その他（オフィスアワー等）]

授業の前後や昼休みなどに柔軟に対応する。

[主要授業科目（学部・学科名）]